



題字：初代教頭 久保 豊 先生



創立15周年記念シンボルマーク

最優秀作品 杉山 昌志 (14期)

Wと15を組合せ、

水色は自然を、青色はさわやかさを、

白色は純粋さをそれぞれ表しています。



校訓

自立・連帯・創造

〈校章の由来〉

高松西高の西(WEST)の頭文字である“W”3つを重ねて、力強くはばたく翼によって、西高の輝かしい未来への飛翔を象徴したものである。

また3つの“W”は、生徒・教師・父母三者の堅い結束のもとに

“Wisdom through Work and Will”
(強い意志とたゆまぬ勉学を通して英知を磨く)という校風樹立の誓いをあらわしたものである。校章デザイン 土岐 孝氏
(昭和51年11月1日 制定)

校歌

- 一、学舎に 風は流れて
常磐なる 松の緑よ
たくまじき生命はぐくむ
若人の 願い切なり
ああ西高
自立の鐘をつよく鳴らせ
- 二、清らかに 陽光さしいで
仰ぎ見る 青垣山よ
悔いのなき今日を生きんと
若人の 声はこだます
ああ西高
連帯の輪を かたく結べ
- 三、大いなる 希望の丘に
そびえたつ われらが母校
新しき時代を拓く
若人の 瞳澄みたり
ああ西高
創造の火を 明かく燃やせ

目次

- 〔西高創立十五周年を迎えて〕 西風会会長 上村幸司 ①
- 〔個人尊重の時代に向けて〕 校長 杉岡保之 ②
- 〔頭脳流入県としての香川へ〕 高松西高PTA会長 杉上宇俊 ③
- 薫風 〳 恩師からのたより〳 ④
- 特集 〳 創立十五周年に寄せて〳 ⑧
- ももたろうだより 〳 近況報告〳 ⑩
- 西方見聞録 〳 西高からのたより〳 ⑭
- かぜだより 〳 同窓会からのたより〳 ⑯

「西高創立十五周年を迎えて」



西風会会長

上村 幸司

(3期)

いま世界的な規模で激動の状況化、日本のみならず“わがかがわ”も高速道路網の整備・ウォーターフロント再開発・高松—ソウル間の定期便就航等、陸に海に空に大きく発展しようとしておりますが、会員の皆様をはじめ母校の現・旧職員の皆様、並びにPTA・地元の方々におかれましては益々ご活躍の事と存じます。

お蔭様で当会満十二歳となり、この度「西風」三号をお届けできる運びとなりました。様々な面で育み、激励を下さった方々に改めて感謝いたします。

この三号は「西高創立十五周年を祝う」がテーマです。我等が母校は平成三年十一月一日にこの記念すべき日を迎えました。会員皆様には記念誌購入・記念行事への助成で多大なるご協力をいただきましたこと誠にありがとうございます。当会もこの十五周年を目標としてきましたので、これを機に更に良い方向に転換できればと考えています。

まずは当会の活動現況からご報告します。組織運営には「人」・「物」・「お金」の三要素が欠かせないと云われます。「人」は時代を反映してか当会も毎回の人員集めには綱渡りのようなところがあり、貴重な休日割いて下さっている方には深く感謝すると同時に何故、最近役員と同窓会離れが顕著であるか考えさせられます。同窓会活動は企業運営と異なり、一種のボランティア活動ともいえるものですが、余りにもそれ

を求めたが為に味気のない只行事をこなすだけの傾向になってきていますので、もう一度原点に戻ったつもりで活動方針を定め直したいと思えます。

次に「物」と云えば名簿です。丁度五年前に発行された創立十周年名簿を基に毎年異動通知はがきで修正したものを登録しておりますが、相変わらず現住所・帰省先不明の会員の方が数多く、書類を郵送するも返送されてくる時ほど辛いことはありません。正確な名簿は同窓会活動の基本資料となるだけに、どうかご通知下さいますようご協力お願い申し上げます。

最後に「お金」については入会金、年会費のご協力をいただき、お蔭様で以前と比較すればずっと運営し易くなりました。今後は「人」・「物」をより生かすべく、ひいては会員の皆様に還元できるような有効に活用させていただきたいと存じます。

私事で大変恐縮ですが会長就任後八年が経過しました。その間運営で何度も行き詰まり、その度に規約上にある目的「母校と会員及び、会員相互の連絡と親睦を図り、併せて母校の発展を期する。」を読み直し、やっとう理解できたような気がします。やはり大切なのは「人と人とのつながり」であり、新しい出会いが一つのチャンスとなり、可能性となるということ。高松西高という共通の学校に居た私達が年代を超えてお互い親睦を深め自分達が成長してゆく中でいかにしたら母校が発展するか語り合い、行動できればこれこそ同窓会本来の姿ではないかと思えます。その点をコーディネートできるよう努力して参ります。

当会も新メンバー十三期生を迎え、とうとう一般会員数が五千名を突破しました。もう新設高の同窓会とは云えないかもしれませんが、若いスピリットは持ち続けましょう、あの西高時代のように。

皆様のご多幸と母校の輝かしい発展をお祈り申し上げご挨拶といたします。

「個性尊重の時代に向けて」

校長

杉岡保之

湾岸戦争にはじまりユーゴ内戦など混乱の度を深めていった激動の一九九一年もソビエト連邦の崩壊という驚天動地の出来事を最後に幕を閉じました。

一方、我が西高の平成三年は創立十五周年の記念すべき節目の年にあたり、ささやかではありましたがPTAや同窓会のご協力を頂き記念行事も滞りなく終えることができました。とりわけ、十一月一日の創立記念式には同窓会会長さんのご挨拶、第一回生で初代生徒会長の山地英二さんの体験に基づいたユニークな講和をいただき生徒たちに感銘を与えました。また、十一月二十七日に県民ホールで開催しましたハンガリーのオーケストラも非常に質の高い演奏で、ご参加いただいた同窓会、PTAの方々からも褒めの言葉をいただきました。記念事業のうち記念誌の「蒼天」は編集委員会の諸先生方が一年有余にわたって広範に写真の蒐集を行い、可能なかぎり多くの先輩方の姿と活躍の様子を再現しようと縷々辛苦されたものです。お蔭でご購入いただいた同窓生の方々からも好評を得ることが出来ました。

また、平成三年は生徒たちの活躍の場も一層広がりました。八月には全国高校生の文化の祭典である全国高等学校総合文化祭が本校生高嶋加津さんの当選標語「青春の 夢さんさん いま香川の空と海に」をメインテーマに本県で開催され、多くの生徒達が表舞台でまたは裏方として活躍し全国の高校生と交流を深めました。スポーツの面では県総体で女

子が一躍総合四位に、男子も八位にくいこむ健闘を見せ、陸上・アーチェリー・水泳部の選手がインターハイや国体に出場、文化の面では放送部の鳥取さんが全国大会で優秀な成績をおさめました。こうした生徒の活躍は、開校以来諸先輩の築いてこられた自立・連帯・創造の西高精神と文武両道をめざしてたゆまず努力する西高生のモットーに根ざすものであり、十五年にわたって培われた伝統に支えられたものです。

しかしながら、時代の進展とともに香川の高校教育も今日大きく変わりつつあります。本校創立後、高松北、香川中央高校の二つの高校が新設され、今また、高松地区にもう一つの高校新設が議論されています。国際化が急速に進む中で、学校週五日制もいよいよ実施に移され、個性を尊重する多様な教育活動が求められています。このため、本校も次なる二十周年に向けて新たな飛躍をめざして時代の要請に応える学校づくり、とりわけ、進学率の向上、個性豊かな生徒の育成に努めるとともに、教育内容・施設の充実・学校環境の整備を進めてまいらなければなりません。今後とも、同窓諸兄弟の強い連帯感と、母校愛に支えられて、西高が魅力ある高校として県の内外において、確固たる地位を築いていくよう祈念してご挨拶とします。



「頭脳流入県としての香川へ」

PTA会長

杉上 宇俊

平成四年の新春を心健やかに迎えのことと存じます。OB誌西風に寄稿できますこと、悦びに堪えません。これを機に西風会とPTAの連絡が緊密にならんことを願って止みません。

昨年は湾岸戦争・ソ連邦の崩壊と、激動の年でありました。本年はそれからの安定の方向に進んでおります。平和的に基礎が固まらんことを祈らずにはおれません。一方、国内ではバブルが弾け、証券、銀行の不祥事により、若干、不安定になっておりますが、いずれ正常な状態に戻るものと考えます。

さて、西高も創立十五周年を迎え、ご同慶の至りでございます。校長先生初め、諸先生方、OB諸兄のご努力により記念誌「蒼天」の発刊も終わりました。又、創立記念日にはハンガリーのチェンパーオーケストラを迎え、県民ホールにて盛大に芸術鑑賞会が行われました。すばらしい演奏会であったと思います。

丁度、十五周年という訳ではありませんが、はからずも本年の修学旅行は韓国（慶州、ソウル）へ三泊四日の予定で実施されます。ソウルでは現地チョンナム高校との交換会も予定されております。国際化の時代の中、これにより生徒諸君が国際的視野助成の一助になって欲しいものであります。修学旅行の安全性については、昨年PTAと先生方による下見にて確認致しておりますので念の為ご報告致します。

学校設備面では、第二体育館、セミナーハウスの建設が望まれており

ますが、これらもあらゆる方々の努力で近い将来建設されんものと期待致しております。

継続は力なりと昔から申します。OB諸兄、先生方が努力された伝統「文武両道」いわゆる勉学、部活動の両立の伝統は今でも生きており、両面で着実な実績を残しております。先生方、生徒諸兄のご努力に敬意を表するものであります。間近に迫った大学入試の成果を大いに期待したいと存じます。

子供達が卒業間近になった今、思うのですが、香川県はまだまだ頭脳流出県ではなからうか。気候風土、生活環境の良い香川県を早く頭脳流入県にしないでと。皆様と共に努力し、そうすれば、子供達を近くにおいておけるのではないかと。香川県の発展を祈らずにはおれません。

最後になりますが、OB諸兄のご活躍と母校西高のご支援をお願いしてご挨拶と致します。



薫風く恩師からのたより

「大貫芳雄先生のこと」

仲野 昭

大貫芳雄先生が平成3年7月18日に亡くなられた。53歳であった。先生は、昭和52年2月、新設の高松西高に着任され、昭和61年3月までの9年間、地理を教えられると同時に、生徒会、テニス部の顧問をなされた。1回生から9回生までの卒業生諸君は、教室で直接教えを受けなかった人でも、屋島合宿で先生と寝食を共にしたことを覚えていると思う。私は高松東高で先生と最後の数ヶ月を過ごした者として以下先生の業績の一部を書かせていただくが私の知るところは僅かである。先生をより親しく知る方々や、様々な思い出を持つ卒業生諸君が先生を偲ぶお気持ちを今後まとめていただければありがたいと思う。

大貫先生は、昭和13年に東京に生まれ、都立立川高校、東京教育大学理学部を卒業、37年高松高校に赴任された。高高時代には、郷土誌研究会の指導にあたり山村や島で生徒と合宿をし、過疎化していく地域の生活の実態を明らかにしようとした。この研究は今なお高い評価を受けているという。彼は汗をかきかき（汗かきは一生続いた）奮闘した。彼は教師であると同時に学徒であった。高高では15年勤めたから卒業生も多く、入院された病院にもかつての教え子が医師となっていると話してく

れた。昭和52年2月、西高に赴任し新しい学校作りに参加する。「蒼天」P81に「大雪でバス不通となり、多くが徒歩登校」という記事がある。瓦町から鬼無まで雪の中を歩いて登校する1回生の先頭にいたのは大貫先生であったという。彼は情熱と意気の人であった。

茶目な一面もあった。レクで卓球をする時、サーブの時、わざとそばを向いて打ってくる。彼は左利きであったから、初めての対戦だと、相手はまず打ち返せない。そんな時の彼の得意の笑顔は実に無邪気であった。

昭和61年香川県漆芸研究所専門職員及び県美術工芸研究所事業課長となり、教育現場を一時離れることになった。街で2、3度お会いすることがあった。「慣れない仕事で戸惑うこともあるが、著名な芸術家と講演の依頼などでお話でき今までは違う勉強になる」と言っていた。「日本と香川の近代金属工芸略史」及び「香川漆工芸の発達過程」の2冊はこの3年間の研究所時代の勉強の所産である。彼は探究と努力の人であった。

平成元年高松工芸高校の教頭となる。定時制の責任者として、仕事と勉強の面で様々な悩みを抱える生徒達の教育に取り組み、中途退学をする生徒が大幅に減ったという。彼は愛情豊かな人であった。

平成3年4月教頭として高松東高校に赴任して来られた。さまざまな経験をつまんだ大貫先生は頼もしい落ち着きが出ており、3年前から東高に来ていた私はまた一緒に働けるこれからの楽しみであると思った。4月の終り頃、彼は片足をひきずり、壁に手を添えたりして歩きにくそ

うにしました。5月の連休を利用して病院へ行ってみると言った。その時の口調からは連休明けには当然学校に戻れると私は思っていた。彼も同じ思いであったろう。入院中の彼を私は2度見舞っている。5月11日と18日である。11日は同僚の教員4、5人と一緒だった。ベッドの中の彼は不精髭こそ生やしていたがいつもと少しも変わらぬ様子で状況を話してくれた。背中の何番目かの骨に異状があり、足の神経に影響を与えている。それが足の痛みの原因である。手術をして今はリハビリの段階であるとのことであった。18日は一人で行った。車椅子でエレベーターを使い外に出る許可が医者から出た。日光の中に出てあちこち動けるのいい。丁度新緑の季節で気持ちがいいなどと話はずんだ。日に焼けて血色よく、声に張りもあった。退院は時間の問題だなと思った。これが彼との最後になるなどとは想像もできなかった。しかし病気は私などの思いもしない所で進行していたようだ。6月に入っていつごろであったか、職員朝礼で大貫教頭へのお見舞いは当分の間控えるほうがよいと知らされた。御家族のご希望でもあるということで私達はお見舞いを遠慮することにした。

7月18日未明大貫先生は永眠された。

告別式は7月21日に執り行われた。教職員、教え子、友人達が多数集まり式場の中も外も別れを惜しむ人達であふれた。梅雨明けの暑い日で汗がしたたりおちた。

終わりにあたって益田勉高松東高校長の弔辞の一部を引用する。大貫先生の53年のご生涯を的確に要約していると思うからである。

“あなたがこれまで歩んで来られた足跡をたどってみますと、あなたは、どのような職務であろうとも、新たに与えられた職務をしっかりと引き受け、誠実に熱意をもって取り組み、着実に成果を挙げる方だったと思います。”

大貫さんが亡くなってもう6ヵ月になる。月日のたつのは本当に早い

ものです。奥様の御健康を祈り、お子様達の健やかなご成長を願い、大貫先生のご冥福を心から祈ります。

1992
年 1 月 5 日



昭和56年、5月 遠足にて

「今、思うこと」

瀬 島 靖 彦

昭和51年に開校して早くも15周年を過ぎようとしています。記念誌として「蒼天」を発刊しました。みなさんのお手元に届きましたでしょうか？

その内容から施設・用具面の充実、学校行事面（屋島合宿、修学旅行等）の移り変わり、生徒会行事（部活動、西高祭等）の充実、教職員の若返り・充実が推察できるでしょう。

まず初めに、西高の開校以来の教育方針の中に「文武両道」がありましたね。現在も学校の中が大変明るく活気に満ちています。例えば「西高での学校生活が楽しい」「充実している」と出身中学の先生等に報告している、嬉しいことです。このエネルギーが大学進学とか部活動に好結果として現れています。

まず進学について、西高は、ご存じの如く大学進学を目的にした生徒が中心です。約99%の生徒がそれに該当します。平成3年3月に卒業した生徒の紹介をしますと今まで地方の国公立大学で良しとしていた風潮が、中央の難関といわれる国公立大学に挑戦する生徒がかなり増えてきて好結果が出ています。学校の持つムードが活気に満ち、心意気のある生徒が増えてきています。先輩たちにまけない心意気のある生徒が明日にむかって多数育っているのが現況です。

平成3年12月現在で部活動の加入率1年生で約80%、2年生で75%です。運動部も文化部も頑張っています。新聞紙上等で活躍の結果を見ることが出来ます。特筆できることは3年間部活動をする生徒が40%いて、西高生活と西高の活躍の活力源になっています。その結果が運動部では県総体・四国総体・全国総体・国体の活躍に現れています。文化部も県・

四国・全国レベルで入賞・コンクール・発表大会で活躍して好結果を出しています。もっともっと効率をあげるためには、授業第一・短時間で・はじめのある練習をする、指導者の確保・施設等の拡充と新設を考えることが必要です。施設等の拡充と新設（校地拡張・第2体育館等）については、懸案事項として学校にお願いしています。はやく実現することを願っています。

次に生徒指導についてどのような思い出がありますか？

開校以来の生徒心得より「端正・清潔・質素」が指導理念、高校生のあるべき姿を自覚し、自発的に追求することを重視し未来に続けます。狭義の生活指導だけに終わらないように「生徒一人ひとりの心の成長を大切に」と、「気が付かない生徒には気付かせるように」一言声をかけるように生徒に接し、人間としてのあり方・生き方を追求する。例えば、人間として「西高で成長した」「西高に来てよかった」と一人ひとりの生徒が言えるように育みたいと思っています。

また自転車通学生が全校生徒の約80%（120人）、「逞しい心とからだの育成」を意識し、3年間通学で地球の約半分に相当する距離を突破している生徒たち、一番気になるのが交通事故と交通マナー。特にヘルメット着装が自己の安全管理として必要なことを自覚させ実践するように、ご家庭と協力しながら指導しています。

おわりに西高は、今大きく前向きに翔こうとしています。開校の精神を受け継ぎながら「躍進する明日の西高」を目指し、教職員と生徒が一体となって頑張っています。開校以来の15年目を敢えて分けると3段階の「ホップ・ステップ・ジャンプ」のジャンプの時期と私は位置付けました。そのことが本年度の西高祭のテーマ「レポリニューション（改革）」にまさに現れています。生徒の意見を主に、多数のPTAの方の参加、成功裏に終わりました。来校者数は100余人、開校以来の盛況ぶりでした。先輩たちを励ます意味と思い出多い青春を過ごした母校へぜひ遊びにきませんか？

「初夢」

中西洋三

私の今年の夢は……「食堂でうどんを食べながら、何人かの先生方と、神高のおっちゃんをまじえて西高の過去、現在、未来について話している。」……でした。昨年の暮れに9期生の岡大三君がやってきて原稿用紙をおいて帰ったので、何を書こうかと思いついて、せいで、つい、そんな夢を見たのであろうが西高が大好きな私にとってうれしくもあり、「最近の西高（西高生）だいじょうぶか？」とも考えている自分の心が夢に出たのかと思うと鞭打たれる思いでもあった。

「この頃、西高も変わってきよる。」・「西高も普通の学校（高校）になりよる。」という話は五・六年前頃から先生方との会話の中で時々聞くようになった。もちろん「普通の学校」の自身が問題だが決している意味では使われてはいなかったと思う。そんな時、私自身は「普通の学校ではないかん。（西高らしさ、西高独自の何かがある学校）」と思いつつ、「普通の学校になってもえんかな？」という気持ちにもなったものでした。しかし、十五周年を迎えた今年、やはり、私は「普通の学校ではないかん、魅力あるどこの学校よりもすてきな学校であってほしい。」と考えています。先日の新年早々の始業式の、杉岡校長の「知性を追求する西高生を……」という講話、広田先生（野球部顧問）の「すてきな西高を……」という話にもみんな西高がすてきな学校であってほしいという考えがあらわれていたように思います。先輩たちが創りあげてきた西高スピリットを良い伝統として残しつつ、よりすばらしい伝統を築いていきたいものです。

私が西高に転動して来てからこの春で十二年目を終わろうとしています。私が、当時小学校二年生だった娘も昨年三月、無事？西高を卒業し皆さ

んの仲間に入りました。まったく月日のたつのは早いものだと思います。赴任当時から、ほんとうに尊敬できる・全員が何かをもっているスゴい先輩の先生方や、本当にすてきな魅力を持ち・可能性を一杯秘めた生徒たちにひっぱられ、励まされ、しかられ、おだてられ、喜び、悲しみ、バカなことをしては反省しながら（皆さんもご存じの通り私は今でも、バカなことばかりやっていますが）過ごしてきたわけですが、これから「西高が育ててくれた自分」・「天下の西高で十二年も勤務させて頂いている自分」を忘れずにがんばっていくこうと思っています。卒業生の皆さんも時間があれば、また、県外に住んでいる者も帰省した折には、ぜひ、山口一号线を登って後輩たちを、先生方を導いて下さい。そして、いっしょに、すてきな魅力ある君達の「われらが母校」を創ろうではありませんか。



特集 創立十五周年に寄せて

「恋する心」

山地 英二

(1期)

久しぶりに西高を訪れた私は、懐かしい風景に安堵し、初めて会う人々に緊張し、複雑な思いで一杯でした。昨年十一月一日に創立十五周年記念式が、母校・高松西高等学校で催された時のことです。西高が誕生した頃に今の生徒たちが生まれたのですから、時の流れは驚くほど速いものです。

私が競輪選手になって、十年が経過しました。競輪は九名で約二千メートルを走り競います。そして一着から九着まで中味の違った賞金袋が与えられます。もちろん、うしろになるほど賞金は少なくなりません。プロの世界は極端です。ゴール線に到達する順序以外は何も問われません。たとえ競争の前日まで、近くの山道や練習場で、汗と涙と鼻水を流して一生懸命に訓練に励もうが、一日中遊び惚けていようが、関係ありません。本番のレースで他の八名よりたった一センチでいい先にゴールすれば良いのです。レースの結果に対する賞金額だけが、その人の評価となります。この評価は、金銭面だけでなく、日常生活にまで影響を及ぼすことしばしばです。

また、今の受験生も同様ではないのでしょうか。二日間だけのセンター試験の結果で、それまでの自分を評価されてしまいます。例えば八百点

をとった人は、東京の男の子も、大阪の女の子も、熊本の浪人生も、皆同じ線の上に並べられます。実際は顔も、性格も、環境も何一つとって同じはずはないのに、まるでその点数がその人の全てを表すかのように評価されてしまいます。たくさんの人々の中で自分の位置の確認をすることも大切のことでしょう。でもその評価が全てだとは思わないでほしいのです。点数だけでは測れない自分自身を大切に生きていくべきではないのでしょうか。人は誰でもこの世にたった一人しかいないのです。私は受験生達に是非、恋をして欲しいと思います。誰でもいいから好きになるわけでなく、相手のこういう所が好きで、自分はこんな長所と短所を持った人間であることを理解しあいたいものです。人それぞれ趣味も考え方も違うのです。そして幅広くたくさんの人と友達になって欲しいのです。別に恋する相手は人でなくても良いのです。たとえばスポーツに。テニス、サッカー、陸上と各種目の各所に特徴があり、それぞれ魅力的です。勉強においても英語、数学、歴史など一科目に恋してみることも素敵だと思えます。

これは私が創立記念式でスピーチした内容です。私達第一回卒業生も三十才となりました。職場や家庭で義務や責任におられる日々も増してきたことでしょう。しかし、幾つになっても人間らしく、ますます一途に恋する心を持ち続けたいものです。



「記念式でスピーチする山地 英二さんと紹介する上村会長」

PROGRAMME

ハンガリー・ヴィルトゥオーゾ
チェンバーオーケストラ
HUNGARIAN VIRTUOSI CHAMBER ORCHESTRA

時 平成3年11月27日
19:30-23:00
所 香川県風見ホール

プログラム

ベネ・バルトーク Béla Bartók	ユー・ユリア民謡集 Hungarian Folk Songs
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart	アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.231 Eine Kleine Nachtmusik, K.231
フリッツ・クナッデル Fritz Knebler	ユリシカの恋歌による民謡集 Tales from the Land of the Cuckoo
	響のせせしめ Liedwald
	響のよろこび Liedstreu
	キャプス・ヴァリエーション Caprice variations
	美しきロスマリン Schöne Rosmarin

— ② —

パーシー・グレンジャー Percy Grainger	アイリッシュのアイランド民謡 Irish Tunes from County Kerry (ブローカー・イニによるアイランド民謡)
エドワード・マクドナルド Edward MacDermot	愛都のレナード Serenade for Strings, Op.48

創立15周年記念芸術鑑賞のプログラム

「創立十五周年記念芸術鑑賞会に出席して」

西風会会長

上村 幸司

(3期)

母校創立十五周年の記念行事として、記念誌「蒼天」の発行と、この芸術鑑賞会が開かれました。同窓会を代表して出席をさせていただきましたのでご報告申し上げます。この室内オーケストラは「ハンガリーの巨匠たち」という呼称をもち、弦の国ハンガリーを代表するアンサンブルを作るといふ絶対的な使命の下、国内外での演奏会で大成をおさめてきたということです。今回は日本の青少年のために楽団と指揮者が喜んで演奏を引き受けたとのことで、全国全十八回の公演の内、香川では高松西高校と高松高校のために行われることとなりました。

各曲目の解説は割愛させていただきますが、演奏会は大変盛り上がり、在校生にとっては感受性を高める素晴らしい一時ではなかったかと思えます。今迄の創立記念日といえば母校体育館での講演会というパターンでしたが、学校外でもリスナーとしてのマナーが要求される芸術鑑賞会の導入を試みられた校長先生はじめ記念事業スタッフの皆様にご意見を表す次第です。

西風会からは今回生花の購呈をさせていただきました。なお平日ということもあり、会員の皆様には十分に出席のご案内ができず大変残念でした。創立記念行事にふさわしい有意義な鑑賞会であったということをご報告とさせていただきます。

ももたるうだより 近況報告

「今、生きているといふことへ」

岡野典夫

(4期)

2年生の時にシングル・レコードで買った、「君の瞳に恋してる」がラジオでも喫茶店でもかからなくなった頃、ぼくと、西高4期同期生の何人かは、煙草を覚えるのと同じ位のタイミングでオートバイを覚え、大学の休みに帰郷しては、とある有料道路の七曲りのカーブを、あまりよろしくないスピードで駆け抜けていた。

「おー、とうとうウチのオートバイ買うてくれたかー、西高に行っとった時は、いつもいつも学校の帰りしなに来て、触ったりまたがったりしとったもんやのう」

カワサキオートバイの営業所主任氏

「最初に来だした時はよう覚えとるでー、西高のヘルメットかぶったまんまオドオド入ってきて、すいません、Z400GPのカタログ下さい、いおったんが、『汚れた英雄』見てかぶれてから、ケッケケッケ、言いもって店に入ってくるんじゃが。」

こらいかんわ、思たのう」

バイクショップのメカニック氏。

何をしとったんや、何を……言うてみい、こら……何のことはない、大学が休みでなくても、放っておけばガソリンの続く限り、オートバイ

に乗っていたらう。

オンボロのホンダを買ってサーキットを走る、その、岡山の田舎のサーキットでなく、あのスズカを体験走行させてくれると聞けば、建て前は腕を磨きたい、本音はスズカで、一泊二日のバイク・スクールにも参加する。

とりあえず、前を走るあいつらのナンバー・プレートが近過ぎて、それより遠くにある、未来だとか将来だとかいうものは、少なくともヘルメットの下からは見えていなかった頃だ。

実家の商売に関係があり、これも武者修業と、婦人服の販売会社に入社し、中国地方、九州、関西と、1年毎に転動して歩く。

「女の幸せはね、料理上手と床上手、練習しなさい」
が名セリフのミスター上司(ホントなんですか？西高OBの女性の方々、ぼくはまだ、1人者なんで……)の組んだ人事異動配置表、

「お前、高松に転勤ね……ところで、送別会はいつもの、堺東駅前商店街のカラオケボックスで一次会ね」

買上客層分布分析、中、高校生18パーセント、当然、その中には女子高生として見る、高松西高現役諸君も含まれているはずで、かつてあなたたちと同じ食堂にうどん券を握りしめて走り、同じ数学の授業で居眠りした(こらこらっ)ニシコーセイは、今、あなた方を一つの数字として見る、オトナのオジサンになっている。……から、ただケバいだけになる前の工藤静香にコロッとくるのだし、「101回目のプロポーズ」

の武田鉄矢が岡野サンそっくりとめかした会社の後輩、S君、今度、東京本社出張があったら、午前0時、五反田東急の歩道橋下で待つ、武器はなしだぞ。

オートバイは同じカワサキの900ccになり、西高時代、遠足で四苦八苦した山道を、難なく駆け上がる。

オートバイにはバックギヤはついていない、時間も同じことだ、いくら眼下に西高の校舎が見えても、900ccの2速、フルスロットルより、時間の方がずっとずっと、強烈な加速で速さかる。

「思い出が星になる」のは小泉今日子だけでいい、それをほぐして自分の栄養にし、培い、理解分析した上で、今の時点での自分がある。

栄養と言ってあいまいなら燃料だ、それも、誰から借りたものでもない、自分以外の誰が作ったものでもないのだから、とびきり上等のハイオクタン燃料だ、それを使ってスロットルを開けないことには、ただ流れるだけの時間の方が速い、リタイヤでなければ、2着以下だ。

嘘や妥協がなかったと言えればそれこそ嘘になる、あきらめや見送りもあれば、結局は星にするしかない思いもある。

未来は限りなく無限だ、と言われれば、ほんまかア?と聞き直す、何の用意も改造もなしに、道無き道をオートバイは走れない。

けどレールでなく、そこらの路地から高速道路まで、道を選んで走ることではできる、一つの交差点を過ぎれば次はインターチェンジ、2乗3乗4乗、限りなく無限に近い選択の中から、自分の道を自分のスピードで、走ることが可能だ。

ややアル中気味のズッコケエンジンでも、昭和40年式車検1年外観中程度現状渡しボディでも、ブッ飛ばすだけブッ飛ばすのだ、何といても燃料タンクには、西高4期の3年間、たっぷり注ぎ込んだ素敵な燃料が詰まっている。……ま、ま、ま、ま、ついてはですな、燃料タンクの

注ぎ足しに、煙酒の美味しい季節になってますし、ポーナスの残りもまだまだあることですし、ひとつどうですか、明日への活力なんぞを……割り勘ですけどネ。

「岡野オ、人件費昨年対比やけどなア……対策書を書いて……」

「イエッサー! アイ、キャブテン! へい、へい、へいへいへいへいへい、ヘイジュード、ドンレットミークライ……」

上司からの電話、故意のテレフォンナンバー06-395……ハロー店長、

「岡野店長オ、この間の伝票、入力ミスが……」

「げっげっげげのげー、夜は墓場で運動会、ここはどこ私は誰?」

「ここは店であなたは店長です」
 おお岡野くんあなたの仕事は何、私の仕事は店長よ、肩書きだけで辛いのよ、ヤーホー、オートランランラン……ポケットには、オートバイのエンジンキー。

生きて、生き抜くことへ……そして、その道程で出会う、全ての人へ、その全員が第1戦だけのグランプリを走る、今、生きていくということへ。

「ジェントルマン・スタート・ユア・エンジンズ」

「レイディース・スタート・ユア・エンジンズ」

「別離、思い出、そして感謝」

岡田 誠
(2期)

当時社会科教室が特別に設けてあるのにも、さすが高校ともなると、施設も違うものだと、当時の私は思ったものです。

その通常の教室とは一味違ったレイアウトの空間の中で、大貫先生は、私たちに向かってその笑顔を見せておられました。小柄な方ながら、ゼスチャーたっぷり、しかも大きな声で地理よりも、歴史が好きであった私に、体当たりでむかってこられる。そんな印象が、先生の授業を思い出すと浮かんできます。

しかし正直なところ、赤点をもたらした時の記憶の方が、遥かに鮮明であることも事実です。

さて、私にとって、大貫先生にたいへんお世話になったのは、なんと言っても生徒会役員、(会計)として、その活動に携わった時期です。

新設高の生徒会活動は、手操りであり、手造りであり、立案と実行が、同時に展開されていく様な、即実践の世界でもあったように思われます。そんな中、第三代生徒会長、小西君以下、私達役員の顧問であった大貫先生は、私達を追い立て、時には、脱線していく私達の方向の軌道修正を加えていただいたり、そしてその笑顔で、「うまくいったナ」と誉めて下さったり、あらゆる顔を見せながら、私達をバックアップして下さいました。

私も、こうして文章をつづりながら、当時のことを振り返ると、懐し

く、鮮やかに、たくさんの場面が思い出されていきます。

二度目の挑戦で役員に当選した時のこと。開催か、見送りか、さらには公開か、非公開か、に揺れた第二回文化祭。初めて、予算を立てる上での各部代表との個別交渉。当時の生徒会室で、打ち合わせの後、小西会長と大声で「八神純子」の歌を歌ったこと。当時役員であった川原さんが、海外留学に出発する数日前に、教室前の廊下で、応援部でもあった小西会長と共に、二人でエール送ったこと。そして、今や社会人として、又、西風会会長として大きく成長した上村君が第四代生徒会役員として当選後の引き継ぎ。等々…。

しかし、こうした数々の思い出を、しっかりと導いて下さっていたのは、大貫先生の力添えの何ものでもない、当時から十数年経った今、改めて強く感じるのは私だけではないはずです。

悲報は今だに信じられず、又、なぜこんなに若くしてと、これから益々御活躍の折に残念でなりません。

ここ数ヶ月、西風三号、作成委員長を務める中、出来あがった冊子をぜひ読んでいただきたかったと無念の感を抱く一方で、いや、大貫先生ならきっと手に取って読んで下さっているに違いありません。それどころか、原稿に追われている私に、「赤点」をつけておられるかもしれせん。

どうか、安らかに。そして我、西高を、そして卒業生達を見守って下さい。

「大貫 芳雄先生は、平成三年七月一八日に、御逝去されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。」

「同窓会役員へのアンケート」

「西風第三号」作成にあたり、我々編集スタッフは、同窓会役員へ向けて簡単なアンケートを取ってみました。まずは結果報告いたします。

- Q 1、高校生時代、一番好きだった教科は、
一位：数学 二位：化学 三位：英語
- Q 2、高校生時代、一番嫌いだっただ教科は、
一位：英語 二位：数学 次点：世界史、現国など
- Q 3、高校生時代、一番思い出深いことは何ですか。次のうちから選んでください。
1、部活動等 2、修学旅行 3、文化祭 4、遠足 5、その他
一位：部活動 二位：文化祭 三位：修学旅行
- Q 4、卒業して何回くらい西高へ行きましたか。次のうちから選んでください。
1、1回 2、2回 3、3回 4、4回 5、5回以上
一位：5回以上 二位：4回 三位：1回
- Q 5、同窓会総会の参加回数は何回ですか。次のうちから選んでください。
1、1回 2、2回 3、3回 4、4回 5、5回以上
一位：1回 二位：5回以上 三位：残念ながら、選択詞の中にもない一度も参加していない人がこの順位を取ってしまいました。
- Q 6、同窓会において、あなたの協力できることは何ですか。
1、同窓会名簿作成 2、会報作成 3、同窓会（総会を含む）
4、入会式スタッフ 5、その他
一位：同窓会 二位：会報作成 三位：名簿作成
- Q 7、最後に、あなたの高校生時代を一言でいうとどうなりますか。

「私という家の基礎工事」「大学進学の思い出を暖めていた時期」

「平凡」「まあ、ぼちぼちです。」「文武両道」「退屈」

「楽しいことがいっぱい」「一番明るかった時期だった」

「楽しい日々」

「多くの友達や先生に出会い、人間が深まった」

「短いものだったが、自分のやりたいことができて充実した
ものだった」

「毎日が楽しくて仕方がなかった。今、親友と呼べるのは、
西高時代からの友人ばかりです。」

右の様な結果ができました。

Q 7の回答については、なかなか一言といってもむずかしいのか、無回答も少々あった様です。しかし、なるほど、と思われる言葉もあり、皆さんにもぜひ読んでもらいたくて、すべて掲載いたしました。

ところで、なぜ今、役員に向けてのアンケートを取ったのか。そう思われる方も多々あったことでしょう。

「西風第二号」冒頭の同窓会会長、上村氏のあいさつの中で、「西風会は、人が基本」と述べていたことは、記憶に新しいことと思います。今、同窓会運営において不足しているものは、役員のみならず、西風会会員の皆さんの、色々な面での御協力、様々な行事への参加、又、数々の意見、アイデアを寄せてもらえる機会を持ってもらうことなどです。それらの点について、改めて考えてもらう足掛かりになれば、とこのアンケート企画した次第です。

県内にも、我、西高創立後、いくつもの新設高が誕生しました。しかし、聞くところによれば、その同窓会の活動状況については、なかなか思う様に運営されていないとのことです。我、西風会は、これまでの努力が実を結び、未熟ながらもその歩みを絶やさず、今日に至っています。しかし、これからが大切です。

卒業時に選出された役員の方々には、それぞれにクラスメイトからの人望、信頼、キャラクターの良さなどを評価されていたことは間違いないと思います。そんな人達の新しい力を、西風会にぜひ注いでほしいのです。

もちろん、先にも述べた様に、役員の方々に限らず、西風会会員の一人一人の方々が、色々な形で我々の企画に参加し、また、メッセージを送ってくださることを大いに期待すると同時に、西風会も、皆さんにもっともっと声を掛けていきたいと考えます。

卒業後、それぞれの進学先の違い、年齢の違い、職場の違い、未婚、既婚など、在学中とは異なる立場での、新しいコミュニケーションの空間を西風会が提供できるよう、その力をつけてゆきたい昨今です。

皆様の御理解、御協力、そして参加していただけることを切に願います。アンケートの結びとします。

一九九二年、二月



「第11回西風会総会にて合唱するコーラス部OB」

「メッセージ」… 会員からのたより

御苦労様です。一回生の「セブン」も30才1ヵ月前にして結婚しました。自転車屋の夫と「二輪三脚」です。

1期・菅野 明子(高橋)

2人の男の子(4才・1才10ヶ月)に毎日ふりまわされています。元気です。

2期・柴田ひろみ(福家)

昨年11月に結婚しました。

2期・田中 崇孝

来年5月には高松に帰ってきます。歯医者として老若男女をみています。

2期・塩井 正志

お世話役、ごくろうさまです。残念ながら出席できませんが、「西風2号」、懐しくうれしく読みました。この夏、帰省の折に訪れてみたいと思います。(主人を案内しながら!)

2期・森田 裕子(西野)

みなさん御苦労さまです。高松を離れているのでなかなか総会にも参加できず残念です。

西高時代のひとつひとつが、とてもなつかしいです。これからもがんばって下さい。

2期・井上 由美(渡辺)

今年4月から長女が幼稚園へ通い始めました。長男は2歳前でわんぱく坊主です。

2期・岩崎富久代(千田)

現在、中華人民共和国広州市に在中でなかなか日本にも帰れません。いろいろお世話様になりますけどよろしくお願い致します。まだ2年は中国在住と思います。

2期・武谷 智

2期生3年5組のみなさん!! 今年8月に同窓会をやります。多数の参加をお願いします。後日、案内状をお送りします。

2期生3年5組同窓会幹事

井澤 淳一

今年3月に退職し、今は子育てに専念しております。子供たちの成長を楽しみに!そしてまたいつの日にか社会に出たいと思っています。

3期・小西嘉奈子(入倉)

サッカー部OB戦の記事、おもしろかったです。バスケット部のOBのみなさん、わたしたちもOB戦しませんか。(男女ともに)

3期・松本 有美(朝倉)

8月で満1歳を迎える娘と、毎日、戦争中です。子育ては体力ですね。「育児」は「育自」。私も子供とも成長していきたいと思っています。

3期・前田 多美(米沢)

毎日、家事と育児に追われイライラしている時に届いた「西風」。あの頃をなつかしく思い出し、とてもいい気分転換になりました。

3期・塩田 益(山口)

6月30日に結婚しました。西高時代の友人も続々と結婚していて、もうそんな年齢なんだなあ実感させられます。

4期・井上 宗誉

「西高生夫婦」に白井さん御夫妻をみつけ、ビックリノ放送部の一年先輩でお世話になったのです。(男性の白井さんに)貫禄ついて、幸せそうで……。なつかしいやら、時の早さにポーゼンとするやら、たのしいひとときをすごしました。どうもありがとうございました。

4期・朝熊 洋子

平成2年4月3日に長男を出産いたしました。1年の育休を終え、職場復帰して仕事に育児にとがんばっております。

4期・木村 智恵(永井)

一年に一度ひと昔前に戻って懐かしくなります。

5期・植村 三恵(竹井)

もう卒業して8年も経つなんて早いなあ……。うーん。高松にはすっかり御無沙汰してますけどみんな元気でしょうか。私はまだまだやりたいコト山積みで元気で働いています。大阪支部(?)はないのかな。

5期・溝上 香織

1月ケニアより帰国しました。「西風」第2号、なつかしく読ませていただきました。

5期・半田 明子

2号、楽しく読ませていただきました。西高夫婦、おもしろかったです。同期生が載ってなくて残念でしたけど。

6期・矢吹 照代(佐光)

とらばーゆして関西に「でもどり」です。大学も卒業して2・3年めというところの転機みたいですね。みんなどうしているのかなあ。

6期・川上 陽子

5月に結婚し、奈良県へ来ました。高松で西高生を見かけるとうれしくなります。みんながんばりましょうね。

6期・村上 葉子(上杉)

念願の幼稚園教諭一年生として、かわいい子どもたちに囲まれ、がんばっております。

8期・井上 知美

今春、就職してとうとう社会人となりました。はやいものです。

8期・日下 雅代

元気でやっています。総会等諸行事の御成功を祈っています。

8期・西山 伸一

両親が転勤で今、実家は札幌です。大学も関西なのであまり高松に行けなくなるけど、また高松に行ったときは遊ぼうね。

11期・中村 友香

とうとうプロボクサーになりました。応援よろしくお願い致します。

11期・福富 彰

はやいもので来年4月から社会人です。

11期・割石 祐加

東京の生活、人ごみ、満員電車にも慣れ、たのしくやっています。勉強は大変ですけど……。

12期・太田 葉

西方見聞録 ～西高からのたより～

「西高新聞復刊！」

新聞同好会 部員一同

できたてホヤホヤのわが新聞同好会。その構成メンバーは、「西高新聞復刊！」の声に集まった、たった四人の新米記者。良きアドバイザーは、沢田、福田両先生。現在は第三号を制作中である。

記者達の活動状況を紹介する。本拠地を図書室におく。週一回のミーティングで、新しい記事の内容吟味と、記事の進行状況をヒソヒソと話す。たまに脱線し、図書室である事を忘れてしまう。部屋がないのも悩みの種。ミーティングのない日は、愛用の手帳を持って、取材のために校舎中をうろついている。文化祭などの行事ともなると、カメラを持って走る。校外にも足を伸ばす。先生のお宅を訪問し、学校では見られない私生活を覗くという「先生宅突撃訪問」というシリーズものも書く。いささか悪趣味ではあるが……。取材中は、すっかり一人前の記者の顔をしている部員達も、締め切り前には悲鳴をあげている。一人当たりの担当記事数、十〜十二。人数不足には頭をかかえている。

記者をしてみても一番の収穫は、やはり、物事を見る目が鋭くなった事だろうか。毎日をポーッと過ごしていたのでは記事が書けない。感性をときずませ、小さな事でも、ニュースになりそうなのは直ちに拾う。文

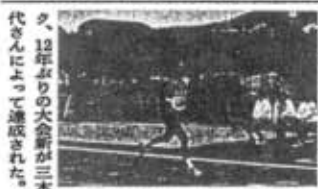
章を書く力もさることながら、その収穫は私達にとって大きいものだ。新聞の一番の使命は、ニュースの提供だが、事実を伝える事だけでなく、学校や生徒会がかかえる問題を浮き彫りにし、紙上ディスカッションのような事もしてみたいと思っている。西高生は、自主性、積極性がないとよく言われる。新聞同好会が、生徒会活動や、各種の活動を促進するお手伝いの役割を果たせればと思う。



熱く激しく、西高旋風

総合女子四位、男子八位

男子団体では二位の観一高に70点余の差をつけて初優勝。男子個人でも森孝雄、向井君が二位、一位を占めた。女子団体も二位観一高に150点の差で余裕の初優勝。個人でも一位に福島早友里さん、三位に神社さんと西高勢の力を示した。現在インターハイをめざして練習に励む毎日だが、吉良先生直伝の秘伝の、伸び悩みの壁を突破し、目標はベスト20とのこと。30位代になろうものなら「男子部員は頭を丸める」という程の意気込みだ。



力走する 佐藤選手 (陸上)

タ、12年ぶりの大会新が三木蓮代さんによって達成された。も

▽アーチエリ
県下十三校が参加して第三十一回県高学校体育大会が行われ、本校からも十三の部が参加し、熱戦を繰り広げた。アーチエリ部が初優勝した。水泳、陸上、剣道、ハンドボールの部が大活躍。四国大会出場の勝利を収めた。これらの競技を中心に、女子は総合四位、男子は八位という素晴らしい成績を収めた。

第 31 回 体 育 大 会 総 結 果

水泳・陸上にも優勝者

アーチエリ部、完全制覇

▽水泳
県立総合プールでまた一つ大会記録が更新された。女子百M平泳ぎ決勝で一分十八秒をマークした。男子百M自由泳決勝で一分十八秒をマークした。男子百M自由泳決勝で一分十八秒をマークした。男子百M自由泳決勝で一分十八秒をマークした。

▽陸上
早朝から朝間の藤田、岡阿先生の熱心な指導が実り、風鳥陸上競技場でも好成績が続いた。まず千五百M一位佐藤君(両君の四分一秒)、佐藤君は八百Mでも一分五秒九で二位に、また中川君は、二百M(四分二秒五)となった。男子千六百M(一分四秒六)は六位入賞。女子では百M(一分四秒六)は六位入賞。女子では百M(一分四秒六)は六位入賞。

高松西高新聞

発行所 高松西高新聞同好会
高松市東区東山町257-1
編集人 東 勇樹
印刷 石田印刷株式会社



西高のWと15周年の15を組み合わせたこのデザインがシンボルマークに決定しました。今年の文化祭やその他の刊行物に用いられるそうです。カラーでないのが残念。



西高チャンス/ショート/ハンドボール

▽ハンドボール
準々決勝 西高2-1東高
準決勝 香中央3-2西高
武道場に響く大きな掛け声。日々の充実した練習の成果が男女ともに三位という好成績と実った。面をつけると別人の様で鬼より恐い土面先生は、優勝を担っていただけに悔やしい。来年こそはインターハイ出場」と語り、「校より願志」の道場の垂れ幕通り、次の試合への意気を見せた。

来年度の修学旅行は 韓国へ

来年度実施予定の韓国修学旅行の計画に伴い、九月十八日(出)から十月一日(戻)まで見が行われた。参加したのは、校長先生、若見先生、PTA役員十名の計十名。
韓国といえども国外なので保護者の不安でもある安全面を中心に視察した。交通機関、見学地、宿泊施設、食料、交際の面、交通設備が見られた。また韓国は日本以上に大学受験が

厳しく、新設校のチャングム高校は、ソウル大学(日本では東大)に五十人は合格させたというから、優秀な進学者のようだ。谷本先生からの余体的な感想は、「外国の事情を参観し、又体験し、同じ世代の人々と友情や相互理解を深め、国際的な視野をひろげるのにも、韓国修学旅行はよい機会だと思ふ。今後は韓国の歴史やハングル語等を勉強し、有意義な修学旅行になるよう準備を進めていきたい」とのことだ。

後まで試合を捨てず、強気で攻め切った。と語る。秋山先生の言葉が印象的だった。男子は決勝リーグでライバル校の高工にわずか2点の差で惜敗したものの三位という好成績を残した。
女子は、準々決勝で西高19-2高北と勝ち進んだ後、惜しくも準決勝で高東に敗れたがベスト4となった。
(関係記事二面)

「アーチェリー部の活動ご紹介」

アーチェリー部主将

井上 貴 由

我が西高アーチェリー部は現在男子15名、女子8名計23名が吉良先生、久住先生、柏原先生のもとで活動しています。通常の練習時間は1時間45分〜2時間30分で、それぞれが思い思いの練習をしています。しかし例年ならば優位な立場にあるはずの我が部は、今年唯一のライバル校である観音寺一高に負け続けています。それでも、個人個人を見てみると全国でそれなりの成績を収めている者も多数います。

そこで、アーチェリー部の具体的な活動を紹介することによって一九九一年を振り返ってみたいと思います。

まず一九九一年に入って最初の大きな出来事といえば3月26日から28日にかけて、名古屋で行われた第9回全国高等学校アーチェリー選抜大会に男子向井先輩・女子福島が出場したことです。我が部として初めて出場するプレッシャーや全国のハイレベルな争いにも負けずに共に14位という成績を残したのは、すばらしいことだと思いました。が、全国のレベルの高さにはただただ驚くばかりでした。

つづいては、3月30日〜4月2日にかけて滋賀の北大津高校との合同練習を行いました。この高校は創部一年目にして全国のトップに立ったすごい高校で、練習のきつさはものすごい評判がありました。着いて早速合同練習を始めると、評判以上のきつさでした。通常の試合では一試合72本を射つのですが、ここでは体慣らしですでに72本以上を打つのです。また一日に5〜6kmの走り込みをしました。私たちは普段走り込みをしない上に72本ぐらいしか一日に射たないので、一日で体がポロボ

ロになりました。けれども、合同練習を終えてみると得たものは多かったです。中でも、最後まであきらめてはいけないということが強く印象に残っています。そのおかげか、香川に帰ってからの我が部も含めて県全体のレベルが急激に向上したと思いました。

そして、いよいよ、第24回全国高等学校アーチェリー選手権大会の時期が来ました。これは一年間の中で最も大きな大会の一つです。この大会には、男子で向井先輩、森先輩、近藤先輩、伊賀の、女子で神社先輩、安部先輩、福島、太田のそれぞれ4人が出場、春からのレベルアップで男子30位以上、女子20位以上を目標にして参加しました。初日は大風で、テントが飛びそうになるほどで、次の日の試合が心配されましたが、当日は風がおさまり無難な試合をすることができました。結果は男子9位、女子19位という予想を大幅に上回る成績が出て大満足でした。

今年最後の大きな大会は団体でした。我が部からは、男子に向井先輩と伊賀、女子に神社先輩、福島が出場しました。石川で行なわれたので、大変寒かったのですが、少年男子で8位入賞をすることができました。こうして一年を振り返ってみると、今年は例年になく成績がよかったです。三大大会での好成績は、なかなか出るものではないと思います。また、東四国団体が間近にせまってきている今、いい状態で来ていると思います。ここで気をゆるめたりせず、さらにレベルアップを計っていきたいと思います。

最後になりましたが、こうしてよい成績が出せたのも、諸先輩方のおかげらしい御指導のおかげだと思っています。これからもよろしく御指導をお願いします。

部・同好会の活躍状況

平成2年度

平成3年度

運 動 部

- 県総体学校対抗総合
(男) 7位
(女) 11位
- バスケットボール部
(男) 県総体優勝→12名がインターハイ出場
- 陸上部
(男)・県総体学校対抗準優勝、トラックの部優勝、110mH 1位 島山晋一、400mR 1位 (県高校新)、やり投 1位、200m 3位、3段跳 3位、四国総体学校対抗 5位、トラックの部 4位、110mH 1位、400mR 1位、やり投 3位、200m 4位→7名がインターハイ出場
・県新人大会トラックの部 3位、800m 1位、100m 2位、500m 2位、400mR 3位
・国体最終予選少年A 110mH 1位→国体へ出場
・県選手権 110mH 2位、3段跳 3位・四国選手権 110mH 2位
(女)・全国高校駅伝県予選 4位
- 水泳部
(男)・県総体 100mバタ 2位、200mバタ 2位・国体予選少年A 100mバタ 2位、200mバタ 2位、200m背 3位、少年B 50m自 3位、100m平 3位
・県新人大会 200mバタ 1位、100mバタ 3位 100m背 3位
(女)・県総体学校対抗 4位、100m平 1位 三木雅代、200m平 1位、400m個混 2位
・四国総体 100m平 1位、200m平 1位→インターハイ出場
・国体予選少年A 200m個混 2位、100m自 2位、200mバタ 3位、少年B 100m平 1位→国体へ出場、400m自 1位、100m自 3位
・県新人大会 100m平 1位 (県新、県高校新) 200m平 1位、200m自 3位、400m自 3位、400m個混 3位、400m混 3位
- アーチェリー部
(男) 県選手権団体 1位、国体四国ブロック大会個人 2位→インターハイへ 4名、国体へ 2名出場
・岡山県新人大会ハーフの部 1位、50m距離賞、30m距離賞
(女) 県選手権団体 1位、国体四国ブロック大会団体 1位、個人 1位、2位→インターハイへ 4名、国体へ 3名出場
- 野球部
全国高校野球香川県大会 準優勝
- ハンドボール部
(男) 県総体 3位、国体予選会 3位、選抜大会県予選 2位、県新人大会 2位
(女) 県総体 4位、選抜大会県予選 3位、県新人大会 3位、県総合選手権大会 3位
- サッカー部
県総体 3位
- バドミントン部
(女) 県総体 3位、県新人大会 4位
- 剣道部
(男) 県段別選手権 2段の部 2位、県新人大会 3位
(女) " 2段の部 2位
- 硬式テニス
(女) 県新人大会シングルス 3位

文 化 部

- コーラス部
NHK全国学校コンクール香川県大会銀賞、全日本合唱コンクール香川県大会金賞、四国合唱コンクール四国大会銀賞
- 吹奏学部
全日本吹奏楽コンクール香川県大会銀賞、全日本アンサンブルコンテスト香川県大会銀賞 (金管 8 重奏)
- 書道部
全国高校書道展四国女子大学賞賞特選、全日本教育書道展東雲会長奨励賞、特選
- 放送部
香川県高校放送コンテストアナウンス部門入選、朗読部門 3位、NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門入選、香川県高等学校総合文化祭放送部門発表会アナウンス部門奨励賞、朗読部門奨励賞、高校新人放送コンテストアナウンス部門 2位、3位
- 演劇同好会
香川県高等学校総合文化祭演劇部門公演会優秀賞
- 将棋同好会
全国高等学校将棋竜王戦香川県大会個人戦 3位

運 動 部

- 県高校総体
アーチェリー 男団体 優勝
男個人 1位 森孝雄 2位 向井公人
女団体 優勝
女個人 1位 福島早友里
- 水泳
男個人 1位 石山哲郎 (100M自由)
1位 高尾光一 (200Mバタ)
女団体 総合 2位
女個人 1位 三木雅代 (100M平泳)
男個人 1位 佐藤仁昭 (1500M)
男個人 2位 佐藤仁昭 (800M)
- 四国総体
陸上 女個人 2位 植田淳子 (100MH)
水泳 女個人 1位 三木雅代 (100M・200M平泳)
男個人 1位 高尾光一 (200Mバタ)
- インターハイ
陸上 男個人 佐藤仁昭 (1500M) 決勝進出 (12位)
男個人 佐藤仁昭 (800M) 準決勝進出
女個人 植田淳子 (100MH) 出場
高尾光一 (200Mバタ)・三木雅代 (100M・200M平泳) 出場
- 国体
陸上 男個人 佐藤仁昭 (少年男子A、1500M)・鎌田剛史 (少年男子B、走幅跳) 出場
バスケット 田中弘子 (少年女子) 出場
アーチェリー 向井公人・伊賀友哉 (少年男子)・福島早友里・神社 (少年女子) 出場
- 水泳 高尾光一 (200Mバタ)・石山哲郎 (100M自由・400MR・400Mメ)・水野大 (400Mメ)・三木雅代 (200M平泳・400Mメ) 出場

文 化 部

- コーラス部
NHK学校音楽コンクール香川大会 銀賞
全日本合唱コンクール香川県大会 金賞
四国合唱コンクール四国大会 金賞
- 書道
全日本教育書道展覧会 会長奨励賞 石丸忍
全日本教育書道展覧会 東雲会賞 滝仁美・上高朋子
全日本教育書道展覧会 特選 竹下誠明
全国高校書道展 特選 佐々木真由美
- 放送
県高校放送コンテスト
アナウンス部門(個人) 優勝 鳥取さおり
アナウンス部門(団体) 2位
NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会
アナウンス部門 入選 鳥取さおり
- 将棋
県高校選手権将棋大会 準優勝
(鴨成高・溝淵巧・本多正命)
- その他
県高校選抜合奏団員として中国派遣 杉上義明
15周年記念シンボルマーク 最優秀賞 杉上昌志
15周年記念シンボルマーク 優秀賞 小林弘之・山地麻里・山本和孝・宮本真琴

平成 3 年度 学 校 行 事

7月	1月～4月(西)高交通安全週間 5月～9月(期)末考査 16日(7)クラスマッチ 20日終業式	14日第1回校外実力テスト (国・数・英 3科) 22月～27日(夏)期講座	14日第1回校外実力テスト (国・数・英 3科) 22月～27日(夏)期講座	13日～14日 第3回校外模試 (記述式 5科) 20日(第2回)公務員模試 22月～31日(夏)期講座
8月	1月～8月(全)国総体 (静岡県) 1月～4月 全国高校総合文化祭	26月～29日(夏)期講座	26月～29日(夏)期講座	21日～29日(夏)期講座
9月	2月(始)業式 2月～7月(西)高交通安全週間 20日～22日 (20日体育祭 21日(文)化祭(非公開) 22日(文)化祭(公開)) 24日振替休日	3日(第2回)校内実力テスト (国・数・英 3科)	3日(4日) 第2回校内実力テスト (5科)	3日(4日)(第2回)校内模試 第3回公務員模試 14日(15日) 第4回校外模試 (記述式 5科) 中旬一般企業入社試験 下旬国家公務員試験
10月	1日～5日(西)高交通安全週間 9日遠足 23日～26日(中)間考査 中旬生活時間調査	中旬進路適性検査		2日(3日)(第3回)校内模試 5日(第2回)小論文模試 12日(13日) 第5回校外模試 (記述式 5科) 中旬果職員試験 下旬 大学入試センター試験出願
11月	1日(開)校記念日 1日～7月(西)高交通安全週間 // ホームルーム週間 PTA 役員会	10日(第2回)校外実力テスト (国・数・英 3科) 19日(第3回)校内実力テスト (国・数・英 3科) 下旬教育課程説明会 コース選択説明会	10日(第2回)校外実力テスト (国・数・英 3科) 19日(20日) 第3回校内実力テスト (国・数・英・理 4科) 下旬教育課程説明会	3日(4日) 第6回校外模試 (記述式 5科) 19日(20日)(第4回)校内模試 23日(24日)(第7回)校外模試 (マーク 5科)
12月	2月～6日(西)高交通安全週間 7日～11日(期)末考査 24日終業式			25日～26日(冬)期問題演習 24日～27日(保)護者懇談会
1月	8日(始)業式 9日～14日(交)通安全週間 21日～24日(保)護者懇談会	9日(校)内実力テスト 第2回コース選択予備調 査 19日(校)外実力テスト 21日～24日(保)護者懇談会 25日～31日(生)活時間調査 27日(課)程決定	9日(10日)(校)内実力テスト 9日(第2回)コース選択予備調 査 11日(校)外実力テスト 21日～24日(保)護者懇談会 25日～31日(生)活時間調査 27日(課)程決定	4日(5日)(直)前対策模試 11日(12日)(大)学入試センター試 験 18日(19日)(上)記述試験 22日～31日(出)題 21日～24日(保)護者懇談会 29日(30日)(卒)業試験
2月	1日(全)校朝礼 1日～7日(交)通安全週間 12日～14日(入)学願書受付 19日～21日(志)願変更	28日～3・3日(期)末考査	16日(校)外実力テスト 28日～3・3日(期)末考査	25日(前)期日程大学・A日程大 学入試
3月	7日(卒)業式 12日(高)校入学学力検査 13日 // 面接 19日(合)格者発表 23日(合)格者招集	19日(終)業式 下旬(春)期講座	19日(終)業式 下旬(春)期講座	5日(第B日程)大学入試 7日(卒)業式 8日(第C日程)大学入試 12日(後)期日程大学入試
	4月7日(入)学式	4月6日(始)業式	4月6日(始)業式	

進路状況

①大学種別合格者数()過年度内数

区 分	3年	2年	元年	63年	62年	61年	60年	59年	58年	57年	56年	55年
国立大学	184 (54)	199 (57)	243 (89)	259 (91)	264 (74)	185 (52)	183 (72)	181 (69)	180 (50)	141 (38)	133 (35)	64
公立大学	29 (10)	20 (9)	37 (17)	29 (14)	22 (9)	23 (19)	35 (24)	29 (17)	15 (4)	12 (5)	25 (6)	8
私立大学	466 (161)	523 (195)	418 (191)	408 (173)	482 (208)	400 (189)	397 (170)	420 (214)	438 (143)	460 (192)	478 (172)	226
国公立短期大学	20 (2)	9 (3)	17 (6)	16 (5)	13 (5)	7 (2)	6 (2)	9 (3)	8 (2)	7 (1)	5 (1)	6
私立短期大学	66 (6)	92 (15)	74 (4)	89 (5)	98 (9)	97 (3)	68 (7)	84 (8)	90 (2)	71 (3)	73 (2)	35
各種学校等	21 (3)	20 (4)	30 (3)	28 (4)	47 (8)	29 (9)	34 (4)	34 (7)	32 (1)	21 (3)	14 (1)	14
計	786 (236)	863 (283)	819 (310)	829 (292)	926 (313)	741 (274)	723 (279)	757 (318)	763 (202)	712 (242)	728 (217)	353

②平成3年3月卒業者学部別進学状況(除各種学校)

学部 性別	文	人 文 ・ 教 養	外 国 語	法 学	経 営 ・ 商 学	経 済 学	社 会 学	国 際 関 係 学	理 学	工 学	農 学	水 産 学	医 学	薬 学	歯 学	栄 養 ・ 保 健 学	商 学	家 政 学	教 育 学	体 育 学	芸 術 学	そ の 他	計
	男	6	2		12	20	26	2	1	4	41	5			2	1		1		9			5
女	39	6	16	6	11	9	3	1	3	2	4		2	2	3	9		13	27	2	1		159
計	45	8	16	18	31	35	5	2	7	43	9	0	2	4	4	9	1	13	36	2	1	5	296

③大学別合格状況

国立大学

() 過年度内数

大 学 名	合 格 者 数				
	3年	2年	元年	63年	55-62年
北 海 道 大	3(1)			3(3)	5(4)
室 蘭 工 業 大					3(1)
帯 広 畜 産 大		1			1
岩 手 大		1			1(1)
宮 城 教 育 大					1(1)
東 北 大			1(1)	1(1)	6(4)
秋 田 大					3
茨 城 大	1		2(2)	2	5(1)
筑 波 大	1	3	2	4	29(8)
宇 都 宮 大	1	2(1)	2(1)	1(1)	3(1)
群 馬 大				2(1)	1
埼 玉 大	5(2)	1	2(1)		9(3)
千 葉 大		1(1)	1	1(1)	9(2)
電 気 通 信 大		4(3)	3(2)	1(1)	6(5)
東京医科歯科大				1(1)	
東京農工大		1	2(2)		6(1)
東京工業大			1(1)		1
東京商船大					2(1)
東京水産大					4(1)
東京学芸大	2(1)		1(1)		8(3)
電気通信大	3(3)				
東京外国語大					4(3)
横浜国立大	1(1)	1		3(2)	9(4)
上 越 教 育 大				1	1
富 山 大	2(1)				
新 潟 大		1	3(1)		3(1)
金 沢 大	3(2)	2(1)	1(1)		4(2)
福 井 大	1				
山 梨 大			3(2)	1(1)	2(2)
信 州 大	1			3(1)	13(5)
岐 阜 大				1(1)	
静 岡 大	3(3)	2(1)	5(3)	2(1)	14(7)
愛 知 教 育 大	1(1)				
名 古 屋 大				1	4(2)
名古屋工業大	2	3	1	1	14(5)
滋 賀 大		1(1)	1		2(2)
三 重 大	4(3)				
京 都 大					7(5)
京都教育大		4	6(2)	4	10(1)
京都工業繊維大			1		3
大 阪 大	3(2)			2(2)	12(7)
大阪外国語大	2			1	7(1)
大阪教育大	1	1	2(1)	3(2)	14(4)
神 戸 大	6(3)			2(2)	11(8)
神戸商船大	1			1	7(1)
兵庫教育大			1	2	5(1)
奈良教育大	3	3	1	2	4(1)
奈良女子大	1	2(1)		1	9(4)
和 歌 山 大	2				
鳥 取 大	2(1)	1	2(1)		12(2)

島 根 大	3	1(1)	2(1)	1	2(1)
島 根 医 科 大	1(1)				
岡 山 大	8(1)	11	14(2)	23(7)	445(27)
広 島 大	4(1)	14(2)	15(6)	13(2)	61(15)
山 口 大	3(1)	4(2)	4(3)	2(1)	4(2)
徳 島 大	9(2)	14(4)	27(13)	26(9)	115(37)
鳴 門 教 育 大	7	8(5)	5(1)	8(2)	7
香 川 大	56(15)	69(16)	79(18)	83(17)	608(131)
香川医科大	2(1)	4(3)	1	1	8(6)
愛 媛 大	19(2)	9(4)	13(8)	14(10)	234(20)
高 知 大	7	9(4)	23(6)	19(8)	40(8)
高知医科大	2(2)			2(1)	1(1)
福 岡 教 育 大					2(2)
九 州 大	1	4(2)	3(2)	6(5)	15(9)
九州工業大		2	1	7(4)	5(2)
佐 賀 大	1(1)	4(1)	4(2)		6(4)
熊 本 大	1	2(1)		2(2)	6(1)
大 分 大		3(1)	4(4)	3(1)	9(1)
宮 崎 大	1	1	1		2
長 崎 大	1(1)	1(1)		1(1)	1
鹿 児 島 大	3(2)	1		3(1)	5(1)
鹿屋体育大					3
そ の 他		3(1)	3(1)	2	16(6)
計	184(54)	199(57)	243(89)	259(91)	1330(301)

公立大学

大 学 名	合 格 者 数				
	3年	2年	元年	63年	55-62年
高 崎 経 済 大			1(1)	2(2)	11(6)
東京都立大		1			1
都立科学技術大					2(2)
横浜市立大	1(1)			1	4(2)
金沢美術工芸大				1(1)	1(1)
都 留 文 化 大			4(2)	4(2)	48(35)
静岡県立大	2(1)		1(1)	1(1)	6(3)
愛知県立大					1
岐阜薬科大			1		5(3)
京都市立芸術大		1		1(1)	1
京都府立大	1	1(1)	1(1)		4(2)
大阪市立大	5(2)		1(1)	1(1)	6(3)
大阪府立大	3(2)	4(3)	1(1)	3(2)	15(9)
神戸市外国語大					4(1)
神戸商科大	3(1)		1(1)	1(1)	6(5)
広島女子大			1	1	2
下関市立大		5(3)	10(6)	4(3)	13(6)
山口女子大		1	2	4	
高知女子大	4	1	8(2)	5	22
北九州大	6(2)	3(1)	4(1)		13(4)
そ の 他	4(1)	3(1)	2(1)		4(2)
計	29(10)	20(9)	37(17)	29(14)	169(84)

私立大学

大 学 名	合 格 者 数				
	3年	2年	元年	63年	55~62年
酪農学園大		1			4(3)
独協大					4(1)
文教大					8(3)
千葉工業大	1		2(2)	4(3)	22(6)
青山学院大	3(2)	2(1)	2	6(1)	47(28)
大妻大	1(1)				5(1)
学習院大		1	2(1)		7(5)
北里大	1	2(1)	1	2(1)	2(1)
国立女子大	1(1)				27(4)
国立音楽大					4(3)
慶応大	3(2)	2(1)	2(1)	3(2)	28(22)
工学院大	3(2)		2(2)	4(3)	2
国学院大	2	1	1	1	14(7)
国際基督教大			1(1)		3(3)
駒沢大		2(2)	1	3(3)	16(8)
実践女子大			1	1(1)	21(1)
芝浦工業大			2(1)	2(2)	50(30)
上智大				1	15(13)
昭和女子大	2(1)	5(2)	3(1)	5(1)	41(6)
成蹊大	1(1)	1(1)		1(1)	5(2)
成城大	2(2)		1		10(5)
聖心女子大			1		3
清泉女子大					2
専修大	4(3)	5(5)	6(6)	6(3)	50(19)
創価大			1		18(1)
大東文化大	9(4)	5(1)	3(2)	1(1)	13(4)
玉川大	1	1(1)			7(2)
中央大	2	7(5)	4(2)	6(4)	60(30)
津田塾大					5(2)
東海大	2(1)	3(2)	2	3(1)	32(8)
東京経済大	1(1)	4(1)		1	8(6)
東京女子大	1(1)	4	2	1	8(2)
東京電気大	2	1	5(5)	4(2)	38(27)
東京農業大	2	4(3)	4(4)	2(2)	13(6)
東京薬科大				3(2)	2(2)
東京理科大	2(1)	4(2)	3(2)	9(8)	70(42)
東洋大		4(4)	5(4)	6(4)	19(7)
日本大	9(2)	12(7)	8(7)	18(14)	99(47)
日本獣医畜産大	2	1	1(1)		3(1)
日本女子大	1	1(1)	2(1)		21(3)
日本体育大			1		7(1)
法政大	4(3)	1(1)	7(6)	3	68(35)
武蔵大	2(1)				4(1)
武蔵工業大	3(1)	1	2(1)	1	18(12)
明治大	6(3)	9(5)	5(4)	4(1)	89(43)
明治学院大	4(1)	5(2)	3(3)	3(1)	46(26)
明治薬科大				1(1)	1(1)
立教大	1(1)	2(1)	3(1)	4	68(16)

早稲田大		1(1)		3(1)	53(35)
神奈川大	2(1)	12(8)		3(2)	45(19)
フェリス女子大	1(1)				5
愛知大	1(1)	1		2(2)	13(4)
中京大	2	3(2)		3(1)	14(3)
南山大					2(2)
日本福祉大	1	1(1)		3(1)	19(7)
名城大	4(3)	8(1)	4(2)	4(3)	15(8)
京都外国語大	2	4(1)	1	4	29(2)
京都産業大	11(5)	15(5)	10(5)	21(7)	130(50)
京都女子大	4(1)	10(2)	7(1)	7(3)	53(11)
京都薬科大	1	1(1)	2(2)	1(1)	6(2)
同志社大	5(3)	7(4)	10(8)	6(3)	120(75)
同志社女子大	4	7(3)	2	3	42(4)
ノートルダム女子大	2	2(1)	3		12
立命館大	14(7)	11(2)	5(4)	21(11)	186(100)
龍谷大	10(3)	8(5)	3(2)	4(2)	65(27)
大阪経済大	5(1)	7(2)	3(1)	7(4)	56(25)
大阪工業大	2(1)	9(5)	8(4)	10(7)	102(34)
大阪樟蔭女子大	2				20(1)
大阪電子通信大	7(1)	5(2)	14(6)	4(3)	24(12)
大阪薬科大	1(1)		1(1)		5(1)
関西大	17(7)	17(6)	20(12)	23(12)	138(61)
関西外国語大	2(2)	4	1	1	29(6)
近畿大	11(4)	14(2)	7(3)	5(2)	68(11)
摂南大	7(4)	17(6)	10(9)	6(4)	21(10)
関西学院	4(3)	5(3)	7(7)	13(7)	89(68)
甲南大	4(3)	3(1)	9(4)	3(1)	38(20)
甲南女子大	3	1	4	3	22
神戸学院大	16(6)	9(3)	8(3)	8(4)	64(17)
神戸女学院大	1	1		1	15(3)
神戸女子大	4	3	3(1)	2	15
神戸女子薬科大			1(1)		6(1)
松陰女子学院大	2	2(1)	1	1	10
武庫川女子大	2	5(1)	3(1)		29
岡山理科大	11(3)	12(3)	11(7)	6(1)	27(8)
ノートルダム清心女	5	9(1)	9(1)	1	22(5)
広島工業大	2	6(1)	8(3)	3(1)	12(4)
広島修道大		1(1)			5(3)
徳島文理大	11(2)	13(3)	9	5	38(5)
四国学院大	26	33(2)	40(2)	44(4)	161(19)
松山大	39(9)	44(18)	33(14)	27(6)	159(49)
西南学院大		2(2)		1	5
福岡大	1	1	4(1)	2(2)	23(7)
その他	130(54)	120(47)	64(24)	38(15)	234(85)
合 計	466 (161)	523 (195)	418 (191)	408 (173)	3,301 (1,288)

国・公立短期大学

大学名	合格者数				
	3年	2年	元年	63年	55-62年
信州医療技術短					3
京大医療技術短		1		1	1
鳥取大医療技術短	1	1(1)			
岡大医療技術短	2	1		1	
徳大工業短					1(1)
徳大医療短	3		3(1)	2(1)	
香大商業短	4(2)	2(1)	3(2)	6(4)	24(10)
愛媛大医療短				1	
九州大医療短					2(1)
福島県立会津短	1				
都立商科短			2		
山梨県立女短	1				
長野県短大	1				
岐阜女子短					1
静岡女子短					2(1)
富山県技短				1	
名古屋市保短				1	
三重重短				1	
滋賀県立短	1		1		
京都府立女子短		1		1	5(1)
姫路短					4
岡山県立短	2		3(1)		7(1)
倉敷市立短			1		1
新見女子短	1	1(1)	2		
尾道短	3	2	2(2)	2	6(1)
福山市立女子短					2
高知女子大短					1
計	20(2)	9(3)	17(6)	16(5)	47(16)

私立短期大学

大学名	合格者数				
	3年	2年	元年	63年	55-62年
青山学院女子短	2(2)		1		8(1)
大妻女子短			1	1	2(1)
学習院女子短	1(1)	2(2)			8(1)
共立女子短					9
実践女子短			1	1(1)	14(1)
昭和女子短	1	3	2	1	17
東京女子短					7(1)
明治女子短		1(1)			2
立教女学院短					1
上智短					1
フェリス学院短					3(1)
京都外国語短		1			2(1)
京都女子大短	5	11	13(3)	18(2)	124(15)
同志社女子短	1	4(1)	5	5	7(1)
平安女学院短			1	6(1)	35(1)
大阪女学院短					2
関西外国語短	3	5(1)	2	7	50(1)
甲南女子短		1(1)	2	2	10
神戸女子短	1		2	3	16
神戸山手女子短				1	9
松陰女子短	2(1)		2(1)	3	17(1)
武庫川女子短	4	9(2)	7	12	47(2)
徳島文理短	13	13	1	2	8
香川明善短					13
四国学院短	11	13	8	17	73
高松短	4	12(2)	10	2(1)	25(2)
その他	18(2)	17(5)	16(1)	8	104(4)
計	66(6)	92(15)	74(4)	89(5)	618(34)

各種学校等

大学名	合格者数				
	3年	2年	元年	63年	55-62年
防衛医科大学校	1(1)				
防衛大学校		2(1)	1(1)	6(3)	23(15)
航空自衛隊航海学生				1	
気象大学校					1(1)
海上保安大学校					2(2)
海上保安学校					1(1)
航空保安大学校					2(2)
徳島大学医学部付属看護学校					3
国立普通病院付属看護学校		1	2	2	7
国立療養所高松病院看護学校			1		7
香川県看護専門学校	2	3	10	3	42(1)
高松赤十字看護専門学校	5	7(2)	7	4	25
香川県臨床検査専門学校			1	3	7(2)
香川県立保育専門学校	2	1	3	2	33(1)
穴吹情報ビジネス学校	4	1		4	3
その他	7(2)	5(1)	5(2)	3(1)	68(7)
計	21(3)	20(4)	30(3)	28(4)	225(33)

(ロ) 公務員試験合格状況

区分	合格者数				
	3年	2年	元年	63年	55-62年
国家公務員採用Ⅲ種試験	4	1	2	1	134(16)
香川県職員採用初級試験		1	1	1(1)	13(1)
高松市職員採用試験	1				20(1)
その他		1			18(2)
計	5	3	3	2(1)	285(30)

(ハ) 就職状況

業種別	3年	2年	元年	63年	55-62年
建設業					1
製造業				2	27
運輸・通信業				1(1)	7
卸・小売業	1	1			4
金融・保険業		2	2		13
サービス業	1	2	5	2	14
公務	2	3	2	1(1)	57(1)
合計	4	8	9	6(2)	123(1)

(ニ) 主な就職先(順不動)

会社・官庁名	3年	2年	元年	63年	55-62年
香川県職員	1	1	1	1(1)	13
高松市役所	1				14
法務局	1				
京都府警察官		1			
働セシール	1	1			
働大豊エンジニアリング		1			
働ソアテック			2		3
三菱電機働高松支店					3
四国電力			1		
日本銀行高松支店		1			2
三菱銀行高松支店			1		
富士銀行高松支店		1	1		2
山ノ内製薬働高松支店				1	1
NHK高松支局					2
高松市農業協同組合				1	1
その他	1	2	3	3(1)	80(1)
合計	5	8	9	6(2)	123(1)

かぜだより ～同窓会からのたより～

「第十一回西風会総会報告」

寒 川 裕 之

(11期)

今年で十一回目を数える西風会総会は、会員皆様の御協力により八月十一日、高松グランドホテルにおいて開催することができました。今回の総会は参加者はほぼ昨年並でしたが、多忙な中御出席いただいた先生方や西風会会員の皆様方には非常に感謝します。

今年も例年同様、総会の後の懇親会ではコーラス部OBの皆さんによるすばらしい合唱などのイベントもあり、また時間が進むにつれ、あちらこちらで昔の想い出話や再会を喜ぶ光景を見たり聞いたりすることもできました。以前から言われていた「総会は堅い」というイメージも、少しずつではありますが、とり除かれつつあるようです。

ここで総会の内容について改めて申し上げますと、前半は校長先生や新旧職員による西高についてのお話や、西風会としての支部報告・会計報告等であり、後半の懇親会で先ほど書いたようないろいろな事が起るのであります。もはや会の流れは毎年恒例となった気がしますが、それでも、参加者が比較的新しい卒業生が中心ということもあり、毎年わずかずただけで雰囲気が変わってきています。

この総会も、現在は丁度分岐点に立っています。来年からは、もっと

多くの皆様楽しく参加できるよう、全く新しい形式での総会の企画をはじめております。もしこれが実現することになれば、今まで以上に皆さんにも満足していただけるものになると信じております。まだ企画段階ですので、ご意見やご要望などありましたら、是非とも西風会の方にいただけたいと思います。

最後に、非力な私に様々な面で協力してくれた総会実行委員のみなさん、並びに職員の多田先生には本当にお世話になりました。次回の総会では、再び0からの出発となると思いますが、是非とも今までのものとなりますよう、期待しております。



「91 高松まつり総おどり参加報告」

竹内 賢 政

(12期)

「踊り知らんぞ」「何とかなるわ」という調子で、今回も八月十四日、高松まつり総おどりに参加しました。十二期生を中心として総勢約三十人と昨年にも増してさびしい人数でした。実行委員会としても反省すべきところがあります。

当日は午後六時三十分にも今回も県立図書館前に集合しました。そして記念撮影の後、同七時に市水道局前を出発し、八時までは「瀬戸の都・高松おどり」を、八時から九時までは「さぬきおどり一合まいた」を踊りました。初めの一〇分ぐらいは、踊るといふよりは歩くと言ったほうが適切だったと思います。しかし歩きながら他の連の踊りをまねているうちに、自然と踊れるようになってきました。途中で一般の方の中に混ざって、西高の先生方や会員の皆様からのご声援をいただきながら、無事に最後まで全員で踊り切ることができました。

今回の高松まつりへの参加はとても楽しいものとなりました。集まったのはお互いに知らない人が多かったと思いますが、参加したのが九、十、十一、十二期がほとんどで年齢が近いこともあり、すぐにとけ合いました。ただ一つ残念だったのは、前にも述べましたが、参加人数の少なさです。前回は約四十人という参加者でしたが、今回はさらに十人少なくなりました。このことは会員の皆様にご参加していただくしかなく、ご協力をお願い致します。参加方法も友達とのグループでも、部の同窓会としての利用でも、またはご家族での参加でも、何でも結構です。

最後になりましたが、上村会長をはじめ、諸先輩方には大変お世話に

なり、ありがとうございました。



「西高コーラス部OB会報告」

永尾 幸
(11期)

コーラス部について書いて下さいと頼まれた時は、「はい、わかりました。」と、何も考えずに承諾してしまったのですが、いざ、書く段になってみると、はたと困ってしまいました。私はOBになってから2年しかたっていない若輩者ですし、文章を書くのは苦手です。それに、コーラス部のことを書くのに、私などよりもっとふさわしい方がいらっしゃると思うのですが……。今さらそんなことを言ってもしょうがないので、自分なりに書かせて頂きます。稚拙な文章はご容赦下さい。

西高コーラス部OB会は、西高生時代にコーラス部に入部していた人たちの集まりで、現在、二百名近くの会員がいます。OB会の主な活動としては、三月下旬のOB会総会、現役生との交流を兼ねたソフトボール大会、そして八月中旬には、夏の演奏会を毎年行っています。

OB会総会では、前年度の活動内容の報告、反省や、今後一年間の活動予定などが話し合われます。

三月恒例のソフトボール大会では、現役生とOBとの混合チームをつくってそれぞれ対戦します。私はOBになってからはまだ参加していませんが、現役生の頃は毎年、このソフトボール大会が楽しみでした。というのは、卒業した先輩方に会えるし、直接には知らない、先輩の先輩方と話ができる数少ないチャンスだったからです。OBの中にもソフトを楽しみにしていて、これだけは絶対欠かさずに参加している、という方がいらっしやいます。(あえて誰だ、とは言いませんが……)

現役生とOBがコミュニケーションできるもう一つの行事が、毎年お

盆の時期に行われる夏の演奏会です。ソフトボール大会同様、これも現役時代楽しみだったものの一つです。ただソフトと違う所は、みんながソフトをするのではなく、同じ舞台上同じ歌を歌うのです。(当たり前じゃ!)という声が飛んできそうですが……。それに、OBの先輩方のロングスカートやネクタイ姿がとても大人っぽく見えたものでした。またOBにとっても、現役時代に一緒だった先輩や後輩、そして同期の部員たちとまた歌が歌える、というのはいいもので、その歌を現役時代に歌ったことがあったりすると、なつかしさもひとしおです。しかし、OBになつてからわかったことですが、(いや、演奏会のスタッフになつてからと言うべきか。)演奏会を開くというのは、思ったよりずっと大変な仕事だ、という事でした。現役の時、「あるのが当然だ」と思っていた演奏会を行うためには、いろいろな事をしなければならなかったし、いろいろな方に協力してもらわなければなりません。しんどい仕事です。それでも毎年、演奏会が開かれてきたのは、「コーラス部のみんなとまた歌を歌いたい。」という気持ちが強いからだと思います。メルヘンチックな言い方もありませんが、歌という媒体を通して、中西先生や先輩、後輩、そして仲間たちと出会ったのです。もし歌がなければ一生出会えずにいたかもしれないのですから、考えてみれば不思議なものです。このことは別に歌に限らずとも言えることだと思います。

今まで、OBの方々が創りあげてきた、この「西高コーラス部OB会」という灯が消えないように、大切に守ってゆきたいと思います。

「東京支部報告」

東京支部長

池 亀 俊 哉

(1期)

我が母校、高松西高も今年で創立十五周年の節目を迎える事となりました。我々高松西高同窓会「西風会」東京支部も昭和五十五年に第一期卒業と同時に設立されて以来今年で十二年目であります。

我々東京支部では、過去五回の総会(懇親会)を開会し、現在では登録会員千名をこえる一大勢力となっております。

しかしながら東京支部も最近いくつかの問題点を抱えております。まず登録会員が前記の様に千名を超え、その掌握が極めてむずかしい事。さらに東京支部の所掌する地域が関東一円にも及んでいるため、一同に会する事がなかなかできない事。また、日本の大学の過半数が首都圏に集中している為必然的に学生会員数が膨大な数となり、また脱・入会等の移動に伴う会員の変更等の掌握が困難な事等。加えて会員数に比し、長期間東京支部内にとどまる人員が少なく、支部役員が限られる事等が今後の支部運営にあたり問題となるところであります。

しかしながら今後西風会本部の御協力をあおぎつつ西風会内における最大かつ再古参の支部として益々の発展を期し努力していきたいと思えます。会員各位の尚一層の御支援・御理解をお願い致します。

「京都支部報告」

玉 垣 光 伺 朗

(6期)

京都は大学の多い町でもあり、高松西高校から毎年多くの学生を迎えています。そのため西風会は京都支部を設置しています。同窓会の地方支部は、卒業後新しい世界に身を置きながら同郷の輩としばしば顔をあわせ、その土地を郷土の目で見、また新しい目で郷土をながめることのできるよい場ではないでしょうか。

西風会は西日本から東京にかけていくつかの支部を持っていますが、その多くは充分な活動が行われていない状況にあります。京都支部は私が四年前に支部長の役をいただいたあと、わずかな懇親会を開いた以外は活動を行っていません。京都支部という器を受け継いだにもかかわらず、充分な活動を行っていないのは私の責任であり、なんとかせねばといつも思っています。なかなか思うようにはいっていないのが実情です。

京都支部の受け持つ区域の会員は京都市内の大学に通う学生がほとんどです。したがって、京都にくると二年から四年で再びでていくことになり、支部自体を継承しながら続けていくことが難しくなっています。現在は私がスタッフとなって、なんとか「生きていく」状態にあります。できるだけ早い時期に支部としての再建を図る考えです。いろいろと議論すべきことはありますが、とりあえずは少しでも会員が集まってもいいからたのしくやれる場を設けたいと考えています。再建への道のりは遠いでしょうが、何でもいからたのしくやれる場が続ければ、それでよいのではないかとも思います。

京都に住む会員の皆様でこの話のつてやろうと言う人、また、下心いっばいで合コンを画策している人でも構いません(京都には短大・女子大が多い。同窓会のコネを使わぬ手はない)。小さな支部の火を大きく灯してくださる方、長く灯してくれる方がいいませんか。これは同窓会員のための支部です。たのしく活動できる日をつくってほしいと思います。

「香川支部だより」

小柳 雅俊

(1期)

香川支部としては91年度は、①新会員の入会式②総会の開催③盆踊りの参加④会報「西風」の発刊の4つを主として、名簿整理、会計基礎を重点項目として、それと母校十五周年誌の予約者名簿作成から発送までをやりました。ここでは4つのこと以外を報告させていただきます。

名簿の整理では、コンピュータでアウトプットしたものを各期の理事を通じて(もちろん、みなさんからの総会の出欠ハガキで訂正はしていますが)あて先不明のものを訂正したしだいです。しかし、なにぶん限界があり、この場を借りて友人、知人のわかるもの変更のあるものを知らしてほしいと思います。現在、あて先不明で帰ってくるものが300通ほどあるようです。

会計基礎では、振込用紙の書式改正をおこないました。振込んだ人が、何年卒の何期かということがすぐわかるようにしました。実際は郵便局からの書式改正の要求もありましたが(年会費の振込が80名程度ということです)。

母校十五周年記念誌では、おかげさまで同窓会から50名近く購入者がありました。予約、発送は、5周年記念誌「躍動」では、ほとんど学校まかせでしたが、10年たったこともあり、ほとんど同窓会でやっていました。

92年度は、総会の新たな展開、通信費の見直し、OB会への援助の充実、年会費納入者の特典、同窓会名簿発刊の準備等、いろいろ考えておられますので御協力のほどよろしく願います。

最後に、これから振り込まれる方の卒業年と期を書いておきますので参考にしてください。

高松市役所支部「新西会」近況報告

新西会副会長

山下 省吾

(2期)

期	西暦	邦暦
1	80	55
2	81	56
3	82	57
4	83	58
5	84	59
6	85	60
7	86	61
8	87	62
9	88	63
10	89	1
11	90	2
12	91	3
13	92	4

高松市役所新西会が発足して、早くも十年がようとしていきます。この間、会員数は毎年増え続け、現在では63名にも達しています。

さて、昨年度の新西会は、四月の新入会員歓迎会、十二月の忘年会、慶弔金の支給を中心に活動してきました。また、元年度採用者以降の会員を中心として、ソフトボールチームを作り活動しています。

しかし、最近、このような活動に参加する会員の数がかなり減少しています。また、ほかにも会費の徴収などの問題も生じてきています。これからは、日帰り旅行やゴルフコンペなどたくさんの方々が参加できる行事を考えていかなければならないとおもっています。

ところで、これから就職を考えているみなさん、高松市役所に入ってみませんか。高速交通時代を迎えて大きく変わりつつある高松市で、自分の能力を発揮してみませんか。採用に関して知りたい人は、お気軽に人事課(☎三九一二四四)までお問い合わせください。新西会会員一同、心よりお待ちしております。

西風会平成三年度活動記録一覽

平成3年

月日	名 称	内 容
5/12	總會・高松まつり参加 第1回実行委員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	17名出席 ・12期生新代議員との対面 ・總會、高松まつり参加の 実行委員決定 總會実行委員長：寒川裕之氏 (11期) 盆踊り委員長：竹内賢政氏 (12期)
5/30	現保有名簿データ一部 修正完了	・各期理事に依頼
6/9	總會・高松まつり参加 第2回実行委員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	13名出席 ・日時、準備、内容打ち合せ 總會：コーラス部の参加要請 盆踊り：例年に準ずる
7/7	總會・高松まつり参加 第3回実行委員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十九時〇〇分	11名出席 ・内容再確認、案内状発送 總會：第10回にはば準じる 盆踊り：例年に準ずる
8/4	代表代議員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	18名出席 ・總會、盆踊り経過報告 ・總會会計報告準備 (2年度決算、3年度予算案) ・3年度予定の再確認 ・崇高、出席者全員に同窓会活動 全般に対し意見を求めた 要約すると； ・役員同志の親睦会をしたい ・總會の開催について再検討 ・名簿管理を正確に ・仕事の分担に偏りがある ・若い盛り上がりのある会にしたい
8/11	第11回總會 於…高松グランドホテルF	55名出席 ・2年度決算／3年度予算案承認

平成4年

8/11	十八時〇〇分～二十時〇〇分 会費：¥四、〇〇〇	懇親会にコーラス部出演依頼 ※尚コーラス部91夏の演奏会に西 風会が後援した
8/14	第9回高松まつり参加 於…県図前十八時〇〇分集合 十九時〇〇分～二十一時〇〇分	受付時26名参加
9/29	十五周年記念事業協力委員会 於…小柳香川支部長宅 十時〇〇分～十八時〇〇分	2名出席(小柳氏、彈正原氏) ・記念誌予約者の一覽表作成 ・振込用紙書式作成 ・申込書発送準備
11/17	第1回会報3号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	8名出席 ・内容と担当の仮決定 ・スケジュール確認
12/8	第2回会報3号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	9名出席 ・原稿用紙および趣意書発送準備 ・概略レイアウト予想
1/19	第3回会報3号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	7名出席 ・原稿回収・レイアウト ・印刷準備 ・スケジュール再確認
2/9	第4回会報3号作成委員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	9名出席 ・仮刷り確認後正式印刷依頼 ・発送について、担当と時期を検討
2/23	第5回会報3号作成委員会 代表代議員会 於…不二の屋 十時〇〇分～十二時〇〇分	10名出席 ・会報完成前確認 ・決算・予算・事業計画 ・今後の方針打ち合せ
3/6	13期生入会式 於…西高体育館 十一時〇〇分～十一時十五分 13期生代議員対面式 於…会議室 十二時〇〇分～十三時〇〇分	5名出席 ・任命書授与 ・同窓会の説明 5名出席 ・理事、代表代議員選出 ・業務内容周知

平成 2 年度 西風会会計決算報告書

費目	収 入		費目	支 出	
	予 算	決 算		予 算	決 算
繰 越	6,259,197	6,259,197	総 会 費	340,000	360,719
12期入会金	1,782,000	1,688,400	会 議 費	150,000	147,388
総 会 費	188,000	192,000	通 信 費	850,000	934,355
年 会 費	1,000,000	792,510	印 刷 費	660,000	82,461
雑 収 入	0	141,223	慶 弔 費	20,000	41,000
			援 助 費	250,000	120,000
			予 備 費	40,000	38,213
			事 務 負 担 費 用	50,000	50,000
			繰 越	6,869,197	7,299,194
合 計	9,229,197	9,073,330	合 計	9,229,197	9,073,330

平成 3 年度 西風会会計予算

費目	収 入		費目	支 出	
	予 算	決 算		予 算	決 算
繰 越	7,299,194		総 会 費	400,000	
13期生入会金	1,485,000		会 議 費	200,000	
総 会 費	160,000		通 信 費	1,000,000	
年 会 費	1,000,000		印 刷 費	680,000	
			慶 弔 費	20,000	
			援 助 費	300,000	
			予 備 費	50,000	
			事 務 負 担 費 用	50,000	
			15周年記念事業費	100,000	
			繰 越	7,144,194	
合 計	9,944,194		合 計	9,944,194	

平成 2 年度決算及び平成 3 年度予算報告

西風会会計 弾正原紀之

さる、平成 3 年 8 月 11 日、高松グランドホテルにて開催された総会にて左記のとおり、平成 2 年度決算及び平成 3 年度予算が満場一致で可決承認されました。

母校創立十五周年記念誌「蒼天」購入のご案内

昨年十一月一日に、高松西高の創立十五周年記念事業の一環として、記念誌「蒼天」が刊行されました。編集委員の先生方のご尽力により、カラー写真を中心として西高の十五年の歴史と現在の姿が生き生きと描かれています。

西風会ではこの「蒼天」を二、三〇〇円（送料込）で会員の方々に販売してまいりましたが、現在二〇〇部程度の在庫があります。新たに購入を希望される方は、左記の要領でお申込み下さい。なお、部数に限りがありますので申込み先着順に発送させていただきますのでご了承下さい。

記

。昨年中に購入予約をされた方
。お手元の振込み用紙をご利用下さい。

。予約をされていなかった方

左の宛先まで定額（二、三〇〇円）を現金書留にてお送り下さい。

宛先 〒761 高松市鬼無町山口 257-1-1

香川県立高松西高等学校内

西風会母校十五周年記念事業協力委員会

大 募 集

～ 求 む ! ス タ ッ フ ・ 原 稿 ～

「原稿大募集」

同窓会報「西風」では下記のような記事を募集しています。

・身近な情報（子育て日記、社会人から後輩へのアドバイス、新婚さんからのメッセージ等なんでも）

・OB会、同窓会情報

（部活動の活動状況、PR、募集etc.）

・掲示板

（一口コメント、楽しい集いへのPR

etc.）どしどしふるってお寄せ下さい。

「西風」編集スタッフ大募集

あなたも「西風」の編集に参加しませんか。

アイデアいっぱいのおしゃべりしたい彼女を募集しています。

明るい作成委員といっしょに「西風」を育てていきましょう。

製本されたときの充実感は格別です。

期間

10月～2月 ほぼ月1回だけ2時間程度

コーヒーとケーキ付／

（食事もあるよ）

なお、寄稿とスタッフ募集についてのお問い合わせは

〒761 高松市生島町343の1 TEL (0878) 81-3327
小柳雅俊 まで

編集後記

季節は、まさに冬から春へと移りつつあります。暖冬がここ数年続くあまり、春到来の歓びに欠ける念もありますが、やはり待ち遠しいですね。

西風三号作成に、携わり、色々と勉強させていただきました。学校の現状、西風会の今後、スタッフの人達の個人々の現状に至るまで、普段の仕事と生活の中では、触れられないものに接しました。

すべての事は、相い通じるものがあります。前向きに取り込む事の重さ。甘えを持って動いてはいけないこと。そして流されないことではないでしょうか。

編集の仕事は終わりましたが、これからが、始まりです。

最後に、ご寄稿下さった方々、ご協力いただいた、先輩、作成委員の方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。

西風3号

平成四年三月六日発行

編集人 岡田 誠（2期）

発行人 上村 幸司（3期）

発行所 西 風 会

印刷 石田印刷有限公司